

2021年度 海外保健福祉事情について

2021年度の海外保健福祉事情海外研修も新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより全方面で中止となりましたが、海外の協定各機関協力のもと、下記の通り、オンラインによる代替措置を実施致しました。また、リアルタイムで現地とオンラインで繋ぎ実施したものの他、録画による講義を提供頂いた協定先もありました。

国・機関名	テーマ
中国 リハビリテーション研究 センター	<講義> 90分 中国リハビリテーション研究センターの紹介 中国の高齢化問題と展望 中国リハビリテーション研究センターのコロナ感染防止対策
シンガポール 工科大学	<講義・学生交流> 5時間30分 講義「日本の医療・保健制度について」 講義「シンガポールの医療制度について」 グループディスカッション&発表
シンガポール ナンヤンポリテクニク	<講義> 120分 シンガポールの医療・社会制度について
タイ クリスチャン大学	<講義> 120分 タイにおけるコロナ禍の医療提供の課題及び将来への備えについて
モンゴル 医科大学	<学生交流> 60分 グループワーク（自己紹介・文化紹介）、モンゴル伝統ダンス、
カンボジア 国立保健科学大学	<講義> 90分 カンボジアの公衆衛生システムについて
ハンガリー センメルweis大学	<講義> 90分 ハンガリーにおける教育及び看護の状況と課題

<オンライン講義の様子>



中国リハセンでの講義



モンゴル医科大学との交流



シンガポールSITグループワーク



ハンガリーセンメルweis大学講師陣

本学の外国人教員による出身国の保健福祉事情に関するオンライン講義も実施しました。

2021年度実施国

ベトナム・中国・モンゴル・
エジプト・フィリピン・
ミャンマー・インドネシア